

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社ソフィアホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6942 URL http://www.sophia.com/
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)飯塚 秀毅
問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理部ゼネラルマネージャー 兼 経営戦略室長 (氏名)佐藤 元彦 (TEL)045(548)6205
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,786	△5.4	237	△16.2	217	△29.2	54	17.6
2023年3月期第3四半期	7,172	△17.2	283	△54.4	307	△51.0	46	△89.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 54百万円(17.0%) 2023年3月期第3四半期 46百万円(△89.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	19	78	19	60
2023年3月期第3四半期	17	38	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,066	33.2	2,354	33.2	—	—
2023年3月期	7,404	27.4	2,025	27.4	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,342百万円 2023年3月期 2,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,797	△6.6	200	△45.7	189	△52.7	△5	—	△1	86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	3,127,720株	2023年3月期	2,737,720株
2024年3月期3Q	49,020株	2023年3月期	48,960株
2024年3月期3Q	2,778,085株	2023年3月期3Q	2,688,770株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は収束し、経済社会活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかに回復しております。

その一方で、国外では、ウクライナ情勢の長期化による原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、各国の金融引き締めによる急激な円安の進行などが、我が国経済の回復基調を抑制する要因となり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動を展開するインターネット関連事業及び通信事業におきましては、企業の競争力強化や業務効率化を目的としたDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の動きが加速していることにより、ICT（情報通信技術）への投資需要は引き続き高い状態にあります。また、調剤薬局及びその周辺事業におきましては、薬価改定・調剤報酬改定による影響もあり、業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績としましては、売上高が6,786百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。利益面におきましては、営業利益237百万円（前年同四半期比16.2%減）、経常利益217百万円（前年同四半期比29.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益54百万円（前年同四半期比17.6%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

売上高は、企業のデジタル変革（DX）への取り組みなどを背景に、ITエンジニアの需要が高まっていることなどからSES事業が増加しました。また、インターネット関連のシステム開発も順調に推移しました。その結果、売上高は1,281百万円（前年同四半期比13.3%増）、セグメント利益は105百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

[通信事業]

MVNO（※1）事業は競業他社との競争激化により売上が前年を下回り、加えて、FVNO（※2）事業は前年度に事業撤退を行いました。その影響により、売上高は128百万円（前年同四半期比86.1%減）、セグメント損失は30百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント利益）となりました。

[調剤薬局及びその周辺事業]

売上高は、調剤報酬の改定、薬価改定による影響や発熱外来患者の増加に伴う処方箋単価の減少の影響を受けましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除されたことによる患者の増加により、前年同四半期比で増収となりました。利益面では、上記の売上増と合わせて販売管理費の圧縮努力により増益となり、その結果、売上高は5,390百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は277百万円（前年同四半期比40.9%増）となりました。なお、当第3四半期連結会計期間の末日における当社グループの薬局総数は、1店舗を閉局したことにより、56店舗となります。

[その他事業]

その他事業につきましては、第2四半期連結会計期間に新たに設立した連結子会社の事業費用等を計上した結果、営業損失13百万円を計上しております。

（※1）Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

（※2）Fixed Virtual Network Operatorの略。自社で固定回線のネットワークを持たず、他の事業者から借りてあるいは再販を受けて固定通信サービスを提供する事業者。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ337百万円減少し、7,066百万円となりました。これは主として、のれんの減少によるものであります。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ666百万円減少し、4,712百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金並びに長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ328百万円増加し、2,354百万円となり

ました。これは資本金、資本剰余金及び利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,017,889	2,021,268
受取手形、売掛金及び契約資産	1,265,696	1,269,925
商品及び製品	492,830	556,402
その他	209,926	143,669
貸倒引当金	△1,025	△416
流動資産合計	3,985,318	3,990,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	451,902	469,546
減価償却累計額	△324,338	△334,866
建物及び構築物（純額）	127,563	134,680
土地	183,012	183,012
その他	451,937	466,611
減価償却累計額	△399,627	△422,687
その他（純額）	52,310	43,923
有形固定資産合計	362,886	361,616
無形固定資産		
のれん	2,753,966	2,487,896
ソフトウェア	14,194	11,631
その他	2,224	2,144
無形固定資産合計	2,770,385	2,501,671
投資その他の資産		
長期貸付金	69,048	65,054
繰延税金資産	87,561	27,611
敷金及び保証金	128,085	125,116
その他	29,763	21,545
貸倒引当金	△28,903	△26,844
投資その他の資産合計	285,555	212,483
固定資産合計	3,418,827	3,075,771
資産合計	7,404,146	7,066,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,719,944	1,636,644
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	730,003	772,837
1年内償還予定の社債	57,200	35,000
リース債務	350	—
未払金	132,477	140,466
未払法人税等	76,189	55,953
賞与引当金	5,967	1,267
その他	93,604	119,498
流動負債合計	2,915,738	2,861,667
固定負債		
社債	35,000	—
長期借入金	2,353,940	1,773,175
繰延税金負債	611	1,340
退職給付に係る負債	5,502	7,355
その他	67,418	68,614
固定負債合計	2,462,472	1,850,485
負債合計	5,378,210	4,712,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,000	2,489,040
資本剰余金	652,887	783,927
利益剰余金	△922,749	△867,809
自己株式	△62,202	△62,244
株主資本合計	2,025,935	2,342,913
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△286
その他の包括利益累計額合計	—	△286
新株予約権	—	11,842
純資産合計	2,025,935	2,354,468
負債純資産合計	7,404,146	7,066,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	7,172,805	6,786,398
売上原価	4,551,967	4,262,325
売上総利益	2,620,838	2,524,072
販売費及び一般管理費	2,337,800	2,287,027
営業利益	283,038	237,045
営業外収益		
受取利息	192	158
受取配当金	4	4
貸倒引当金戻入額	2,097	2,064
補助金収入	36,947	4,810
社宅使用料	4,598	3,829
その他	9,015	6,573
営業外収益合計	52,855	17,441
営業外費用		
支払利息	17,735	14,541
株式交付費	—	21,362
その他	10,676	811
営業外費用合計	28,412	36,716
経常利益	307,481	217,771
特別利益		
事業譲渡益	—	1,462
その他	—	41
特別利益合計	—	1,503
特別損失		
固定資産除却損	284	—
特別調査費用等	122,916	—
店舗閉鎖損失	—	709
特別損失合計	123,200	709
税金等調整前四半期純利益	184,280	218,565
法人税、住民税及び事業税	69,898	102,946
法人税等調整額	67,662	60,679
法人税等合計	137,560	163,625
四半期純利益	46,720	54,939
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,720	54,939

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	46,720	54,939
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△286
その他の包括利益合計	—	△286
四半期包括利益	46,720	54,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,720	54,652

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

株主資本の著しい変動

当社は、2023年10月13日付の取締役会において第三者割当の方法による新株式の発行について決議し、2023年10月30日に払込を受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ131,040千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,489,040千円、資本剰余金が783,927千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	調剤薬局及び その周辺事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,123,442	923,059	5,126,304	7,172,805	—	7,172,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,976	3,383	7,118	18,477	—	18,477
計	1,131,418	926,442	5,133,422	7,191,283	—	7,191,283
セグメント利益	101,782	8,383	197,088	307,253	—	307,253

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	307,253
「その他」の区分の損失(△)	—
セグメント間取引消去	—
全社損益(注)	△24,215
四半期連結損益計算書の営業利益	283,038

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益、未実現利益の消去等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	調剤薬局及び その周辺事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,278,668	124,137	5,383,592	6,786,398	—	6,786,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,160	4,309	7,118	14,588	—	14,588
計	1,281,829	128,446	5,390,710	6,800,987	—	6,800,987
セグメント利益又は損 失(△)	105,474	△30,529	277,729	352,674	△13,883	338,791

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社で予定している人材紹介事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	352,674
「その他」の区分の損失(△)	△13,883
セグメント間取引消去	—
全社損益(注)	△101,745
四半期連結損益計算書の営業利益	237,045

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益、未実現利益の消去等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ソフィアグローバルワークス及びSOPHIA SG MANAGEMENT PTE. LTD. が連結子会社となったことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を新たに追加しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

第1回新株予約権の行使による増資

当第3四半期連結会計期間の末日の翌日以降、2024年2月14日までの間に第1回新株予約権の一部行使が行われており、当該新株予約権の行使により発行した株式の概要は以下のとおりであります。

①行使新株予約権個数	622個
②資本金の増加額	211,368千円
③資本準備金の増加額	211,368千円
④増加した株式の種類及び株数	普通株式 622,000株

以上の新株予約権の行使による新株式発行の結果、2024年2月14日現在、発行済株式総数は3,749,720株となり、資本金は2,700,408千円、資本準備金は995,394千円となっております。